

久石 譲

日本センチュリー 交響楽団



特別演奏会「第九」

久石譲が音楽監督を務める日本センチュリー交響楽団が豪華ソリストと贈る待望の第九公演。
フェスティバルホールに響く特別なひとときをお聴きのがしなく!



©Nick Rutter

演奏予定曲目

久石 譲

Orbis ～混声合唱、オルガンとオーケストラのための～

Joe Hisaishi / Orbis for Mixed Chorus, Organ and Orchestra

休憩

L.v. ベートーヴェン

交響曲 第9番 ニ短調 Op. 125 「合唱付き」

L.v. Beethoven / Symphony No.9 in d minor Op.125 "Choral"

出演

指揮: 久石 譲

管弦楽: 日本センチュリー交響楽団

ソリスト: 森 麻季(ソプラノ) 山下裕賀(アルト)

山本耕平(テノール) 山下浩司(バリトン)

合唱: 日本センチュリー合唱団



©s.yamamoto

12/26(金) 19:00開演・27(土) 13:00開演
(18:00開場) (12:00開場)

フェスティバルホール

チケット発売日
9月29日(月)10:00～

S席 ¥9,800 / A席 ¥8,800 / BOX席 ¥12,000

バルコニーボックスS席 ¥19,600

バルコニーボックスA席 ¥17,600 (全席指定・税込)

※バルコニーボックス:2枚1組。お座席は、高所にございます。着席してご覧ください。

※未就学のお子様はご入場頂けません。ご了承ください。

主催: 公益財団法人日本センチュリー交響楽団/キョードー大阪

お問合せ: キョードーインフォメーション 0570-200-888 (平日12:00～17:00)

<https://kyodo-osaka.co.jp/>

営利目的の転売禁止 KYODO

チケット発売所

◆ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> <Pコード:307-503>

◆ ローソンチケット <https://l-tike.com/> <Lコード:55166>
+ローソン、ミニストップ

◆ イープラス <https://eplus.jp/>

◆ センチュリー・チケット・サービス
06-6848-3311 (平日10:00～18:00)
<https://jcso.or.jp/ticket/> (24時間)

◆ フェスティバルホール
06-6231-2221 (10:00～18:00) • <https://www.festivalhall.jp>





指揮 久石 譲

Hisaishi Joe

現代音楽の作曲家として活動を開始し、音楽大学卒業後からミニマルミュージックに興味を持つ。1981年「MKWAJU」を発表、翌年に1stアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとしてキャリアを開始。2023年6月、クラシック名門レーベル、ドイツ・グラモフォンからリリースされた最初のCD「A Symphonic Celebration」は米国ビルボード2部門で1位を獲得した。2004年「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)」音楽監督に就任。2017年「Joe Hisaishi Symphonic Concert: Music from the Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」の世界ツアーを開始。パリ、メルボルン、ロサンゼルス、ニューヨーク、ブラハ等で大成功を収め、2025年7月にはツアーファイナル公演を東京ドームで開催した。2014年、世界の最先端の「現代の音楽」を紹介するコンサート・シリーズ「MUSIC FUTURE」を始動。2019年には「FUTURE ORCHESTRA CLASSICS(FOC)」をスタートさせ、同年リリースの「久石 譲 ベートーヴェン：交響曲全集」は第57回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。近年はクラシック音楽の指揮者として活動するほか、「交響曲第2番」「Metaphysica(交響曲第3番)」「Viola Saga for Orchestra」などの作品発表にも意欲的。2024年11月にはLAフィルをはじめ4団体の共同委嘱によるハープ・コンチェルトを世界初演した。これまで、フィリップ・グラス、デヴィッド・ラング、ミッシェル・マイスキーなどのアーティストや、ウィーン響、ヘルシンキフィル、ロンドン響、シカゴ響、トロント響、LAフィル、サンフランシスコ響、フィラデルフィア管などのオーケストラと共演している。2023年10月、日本センチュリー交響楽団とマカオ国際音楽祭に出演。2025年8月、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、BBCプロムスにデビューした。2024年4月よりロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団 Composer-in-Association。2025年4月、日本センチュリー交響楽団音楽監督に就任。



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

街に響く。心に届く。

1989年に発足し、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」と、大阪府下2拠点で定期的な演奏会を開催している。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営など次世代への教育プログラムも積極的に行うほか、「ファミリーコンサート」や「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等、地域連携事業にも力を入れている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、「音楽の力で人々に感動と希望を届ける」「地域社会の文化発展に寄与する」「次世代の音楽家を育成し、音楽文化の継承と革新に貢献する」「クラシック音楽の新たな可能性を追求し、常に進化し続ける」の4つの理念を軸に、久石譲音楽監督と共に、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>

ソリスト



ソプラノ
森 麻季
Mori Maki

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。ブラシド・ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。1998年ワシントン・ナショナル・オペラでアメリカ・デビュー。2023年BBCプロムスにデビュー。国立音楽大学客員教授、東京音楽大学特任教授、東京藝術大学でも教鞭を執る。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。



アルト
山下 裕賀
Yamashita Hiroka

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程を首席修了。武藤舞奨学金を得て、在学中にウィーンへ短期留学。2023年、第92回日本音楽コンクール声楽部門第1位および聴衆賞、第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞を受賞。2025年8月には新国立劇場による創作委嘱作品 細川俊夫《ナターシャ》(世界初演)アラトに抜擢、11月には日生劇場《サンドリヨン》シャルマン王子でそれぞれ出演を予定。



テノール
山本 耕平
Yamamoto Kohei

東京藝術大学大学院首席修了。イタリアにて研鑽を積む。二期会「ドン・カルロ」タイトルロール等多数出演。2022年バージニア州ウィリアムズバーグ・オペラ「ラ・ボエーム」でアメリカ・デビュー。ヴェルディ「レクイエム」等ソリストとしても活躍。イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞部門第1位等多数受賞。2025年12月二期会「ファウストの劫罰」ファウストで出演予定。二期会会員。



バリトン
山下 浩司
Yamashita Koji

国立音楽大学院歌曲専攻修了。ザルツブルク及びウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。二期会「バルジファル」グルネマンツ、日生劇場「フィデリオ」ロッコ、野村萬斎演出「こうもり」フランク等、多数出演。バッハの受難曲、モーツァルト、ベートーヴェン等のコンサート・ソリストとしても活躍。2025年11月二期会「こうもり」フランクで出演予定。国立音楽大学教授。二期会会員。

合唱 日本センチュリー合唱団

Japan Century Chorus



前身の大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)との共演を目的として1992年に発足。これまでに日本センチュリー交響楽団との定期演奏会でのブラームス「ドイツ・レクイエム」、ベートーヴェン「フィデリオ」、ブルックナー「詩篇第112番」、豊中名曲シリーズでのフォーレ「レクイエム」等の共演のほか、「星空ファミリーコンサート」でのプレコンサートでも好評を博している。そしてより質の高い合唱団を目指して日々練習を重ねている。